

## 第1回塩竈市震災復興計画検討委員会でいただいたご意見について

### <第2章> 基本方針

#### 1. 基本理念

##### 【前回会議でいただいた主なご意見】

- ・基本理念に動きや勢いが感じられない。
- ・奥尻の津波では10年が経過すると皆から話が出なくなった。我々も一生懸命、塩竈の復興について検討しているが、この熱気が10年、20年も続くように、塩竈が将来も勢いがあるまちになるような表現が必要である。
- ・市民の心のケア、生活の問題までを考え、「塩竈をさらに元気にする」というニュアンスを含めてほしい。
- ・市民の心の状態、心の問題から離れてはいけない。一人ひとりがやる気にならなければならない。この経験を含めて次に進む、勢いをつけるというニュアンスがほしい。
- ・基本理念が復興というよりは復旧という感じがする。
- ・港町や北浜地区など、津波によって大きな被害を受けた場所に、また同じように建物を建てられるのか。基本理念の「長い間住みなれた土地で・・・」という表現はそのように解釈してしまう。

#### 3. 復興の実現のために

##### (1) 住まいと暮らしの再建

##### 【前回会議でいただいた主なご意見】

##### (2) 安全な地域づくり

##### 【前回会議でいただいた主なご意見】

##### (3) 産業・経済の復興

##### 【前回会議でいただいた主なご意見】

- ・塩竈の水産業・水産加工業に関して、「塩竈市が東北地区全体の力になり復興させる」くらいの役割を掲げてほしい。
- ・塩竈は他の被災地に比べて建物も残っていて被害が少なかったように見えるが、復興計画を考えた際、被害が大きかった他地域は施設整備などが行いやすいため、10年後、20年後には塩竈が埋没してしまうのではと危惧している。復興するためには、まち全体の「強み」を持った計画にしてほしい。
- ・地域産業に関しては、寿司・商店等もありますので加えてほしい。

##### (4) 浦戸地区の復興

##### 【前回会議でいただいた主なご意見】

### <第3章> 基本構想（仮）

#### 1. まちのビジョン

##### 【前回会議でいただいた主なご意見】

- ・塩竈を育てて行くためにももう少し明確化していく必要がある。将来の塩竈のビジョンを全面に出してほしい。

#### 2. 実現主体の役割

##### 【前回会議でいただいた主なご意見】

- ・行政は市民の下支えである。市民が市や産業の発展に取り組んできたことを行政がどのように下支えしてきたのか、これからどうしていくのが文章に表れていない。「動き」を下支えするニュアンスを加えてほしい。

#### 4. 土地利用

##### 【前回会議でいただいた主なご意見】

- ・津波被害への不安が払拭されなければ、同じ地区に住んで良いのか考えが定まらない。防潮堤の議論が優先である。

### <第4章> 基本計画

##### 【前回会議でいただいた主なご意見】

- ・地域に根ざした拠点病院も考えていいのではないかと。
- ・自主防災組織としての育成を図るなら、最初に避難する小・中・高校生の先生と生徒、あるいは親子に対する避難訓練や教育が必要である。塩竈は他地域に比べて防災教育が少ないと思う。
- ・スピーカーでの避難の呼び掛けは連続して行えないので、サイレンを連続して鳴らした方が良いのではないかと。
- ・市の防災マップに指標されている地図を生かしてまちづくりを考えるべき。
- ・塩竈を支えている練り製品を特化してまちの復興に繋げていくべきである。